

## 2016年全日本ラリー選手権統一規則

2015年11月26日制定

2016年 1月 1日施行

### 第1章 大会告知

#### 第1条 競技会特別事項

本選手権競技会のオーガナイザーは当該競技会の特別規則に本統一規則第1章の各項目を明記すること。

また、特別規則の内容は本統一規則の内容に相反したり、また重複しないこと。

#### ○競技会の定義および組織

2016年JAF全日本ラリー選手権第○戦「 [競技会の名称] 」は、一般社団法人日本自動車連盟（以下「JAF」という）の公認のもとに国際自動車連盟（FIA）のFIA国際モータースポーツ競技規則およびその付則に準拠したJAFの国内競技規則およびその付則、2016年日本ラリー選手権規定、2016年全日本ラリー選手権統一規則、ラリー競技開催規定および本競技会特別規則に従い国内競技として開催される。

#### ○プログラム

1. 参加申込の開始日時：
2. 参加申込の締切日時：
3. レッキの受付日時および場所：
4. 参加確認の日時および場所：
5. 公式車検の日時および場所：
6. 第一回審査委員会の日時および場所：
7. ブリーフィングの日時および場所： [開催する場合は記載すること]
8. スタートの日時および場所：
9. デイ1のスタートリスト発表日時および場所：
10. リスタートの出走申請締め切り日時および場所：
11. デイ2のスタートリスト発表日時および場所：
12. 暫定結果の発表日時および場所： (予定)
13. 表彰式の開催日時および場所： (予定)

[※タイムスケジュールの詳細を記載する場合は、上記または別途記載すること]

例) ○月○日(○) [※別途定める場合]

00:00~00:00 項目

○競技会の名称

2016年 J A F 全日本ラリー選手権第○戦 ○○ラリー 2016

○競技の格式

J A F 公認：国内競技 J A F 公認番号 2016年○○○○号

○競技種目

ラリー競技開催規定の付則「スペシャルステージラリー開催規定」に従った  
スペシャルステージラリー

○開催日程および開催場所

2016年○月○日（○）～○月○日（○）の○日間

○○県○○郡○○町周辺

ラリースタート：

ラリーフィニッシュ：

○競技会本部（H Q）

[※レイアウト図は、付則にて記載すること]

○コース概要

スペシャルステージ： [舗装（ターマック）／非舗装（グラベル）]

総走行距離：○○○k m（予定）

スペシャルステージの合計距離：○○○k m（予定）

※スペシャルステージの数：

※セクションの数：

※デイの数：

[※競技会までに変更が生じた場合は、公式通知にて訂正すること]

○オーガナイザー

オーガナイザーの名称：

所在地：〒

代表者名：

[共催の場合3クラブまでの名称を記載すること]

○組織

1) 大会役員 [必要に応じて記載]

・大会会長： 大会副会長：



- ・その他（任意保険代、宿泊料等）：

[※エントリー拒否に伴い事務手数料を差し引く場合、参加車両やコ・ドライバーの変更、再車両検査等により事務手数料を徴収する場合は、該当する項目および料金を記入すること]

- ・支払い方法：

[※振込みの場合は、銀行名、支店名、口座番号、口座名義を記載]

## ○保険

2016年日本ラリー選手権規定第17条に基づき、対人賠償保険（無制限／〇〇〇万円以上）および搭乗者保険（または共済等）（無制限／〇〇〇万円以上）に加入していること。

[※上記金額を決定し明記すること]

## ○音量規制

[※オーガナイザーがマフラーの音量を制限する場合、「マフラーは当該車両の純正品とする。」等を追記すること]

## ○参加台数

総参加台数： \_\_\_\_\_ 台 [90台を上限とする]

## ○レッキの実施方法

[※1. 具体的な実施方法が記載できない場合は、「レッキのタイムスケジュール、実施の詳細はコミュニケーションにて示す。」を必ず記載すること]

[※2. レッキに使用する車両、タイヤを制限する場合はその旨記載すること]

## ○タイヤ

本競技会で使用できるタイヤの本数は、 \_\_\_\_\_ 本までとする。

[※1. 舗装(ターマック)スペシャルステージを有する競技会の場合、以下の条文を追記すること]

- ・ RR車両、RN車両およびRJ車両は、下記事項を満たしたタイヤを使用すること。

ただし、下記(1)による縦溝のみを有したタイヤおよびスノータイヤ(「M+S」、「M・S」、「M&S」の表示があるタイヤ)の使用は認められない。

(1) タイヤ接地面にタイヤを1周する連続した複数の縦溝を有していること。

(2) 当該縦溝はトレッドウェアインジケータ(スリップサイン)が出るまで維持されていること。

- ・ R P N 車両および A E 車両は、下記事項を満たしたタイヤを使用すること。  
ただし、下記(2)による縦溝のみを有したタイヤおよびスノータイヤ(「M+S」、「M・S」、「M&S」の表示があるタイヤ)の使用は認められない。  
(1) 日本自動車タイヤ協会(JATMA)の定めるJATMAラベリング規格における転がり抵抗C以上、ウェットグリップd以上であること、または欧州のグレーディング規格における転がり抵抗F以上、ウェットグリップE以上のタイヤであること。  
(2) 上記(1)を満たしたタイヤでかつタイヤ接地面にタイヤを1周する連続した複数の縦溝を有していること。  
(3) 当該縦溝はトレッドウェアインジケータ(スリップサイン)が出るまで維持されていること。
- ・ 安全上必要と判断した場合、競技長の宣言により規定本数に追加して2本使用することができる。

本項に従ってなられた競技長の宣言に対して抗議することはできない。

[※2. 非舗装(グラベル)スペシャルステージを有する競技会の場合、以下の条文を追記すること]

- ・ スノータイヤ(「M+S」、「M・S」、「M&S」の表示があるタイヤ)を使用すること。

[※3. 競技会で使用できる最大本数の算出方法]

- ・ 舗装(ターマック)スペシャルステージの距離が50km~100km未満の場合、8本(RPN車両はおよびAE車両は6本)とし、100km以上の場合、20km毎に2本追加。
- ・ 非舗装(グラベル)スペシャルステージの距離が50km~100km未満の場合、12本(RPN車両およびAE車両は8本)とし、100km以上の場合、20km毎に2本追加。

[※4. 以下の条文を記載すること。]

- ・ 本競技会では、使用する全てのタイヤのサイドウォールに競技車両番号をマーキングする。併せてスペアタイヤについては、トレッド面にもマーキングを施すものとする。なお、当該競技会中における未使用のタイヤについては、技術委員長の許可を得ることにより、新たにマーキングされた他のタイヤへ交換が許される。

## ○セレモニアルスタート/フィニッシュ

[※1. セレモニアルスタート/フィニッシュを設定する場合はその旨記載すること]

[※2. 詳細が記載できない場合は、「詳細はコミュニケーションにて示す。」と表記すること]

## ○タイムコントロール

公式時刻は、日本標準時を基準とした競技会計時委員の時計による。

[※各デイの最後のコントロール（その直前にサービスパークがある場合はその出口のコントロール）について、タイムペナルティを与えない場合は、その旨記載すること]

## ○スペシャルステージ

1) 計測は、印字機能を持つクロノメーターにて1 / 10秒まで計測する。

2) スタートは、スタートリスト順または直前のTC通過順に1分間隔とする。

[※1. 1分以上設ける場合はその旨記載すること]

[※2. 観客対応等の観点から、競技の一部区間について特別な出走順とすることが必要と判断した場合はその旨記載すること]

3) スタートの方法および合図は、ラリー競技開催規定付則：スペシャルステージラリー開催規定25条6. に従って行う。

[※スタート灯火信号を使用する場合は、故障時の対応も含め詳細を付則5. にて記載すること]

4) 上記1) から3) に該当しないスペシャルステージを設ける場合、予めJAFの承認を得たうえで、付則7. に記載すること。

## ○整備作業

1) 整備作業の監督を担当する競技役員名：

2) 整備作業を行うことができる場所：

3) サービスカーの管理方法：

4) ラリー競技開催規定付則：スペシャルステージラリー開催規定第3章第16条サービス（整備作業）に該当しないサービスを設ける場合、予めJAFの承認を得たうえで、付則8. に記載すること。

## ○賞典

JN-1クラス 1位～3位 JAF楯

JN-2クラス 1位～3位 JAF楯

JN-3クラス 1位～3位 JAF楯

JN-4クラス 1位～3位 JAF楯

JN-5クラス 1位～3位 JAF楯

JN-6クラス 1位～3位 JAF楯

[※1. 副賞がある場合はその旨記載すること]

[※2. 副賞を制限する場合、「JAFの賞典を除き、参加台数の…を下回らない範囲で賞典を制限する」等を記載すること。この場合、正式な数を記載した公式通知を発行し、参加受理書に同封すること]

## ○その他

1. 全日本ラリー選手権対象外の車両を参加させる場合には、下記事項の何れかに従うこと。

1) 当該特別規則に追加する場合には、以下の項目を必ず記載すること。

①参加料等：

②参加車両：

③音量規制： [規制する場合のみ記載すること]

④クラス区分：

⑤参加資格：

⑥賞典：

2) 当該特別規則に追加しない場合には、別途特別規則を作成すること。

2. その他 [必要に応じ記載すること]

## ○付則

オーガナイザーは、必要に応じ以下の付則を発表しなければならない。

### 付則 1. ラリー行程表

[※ 1. 本付則の行程表はあくまでも予定である旨記載すること。

例) Ver.1…、Vol.1…等 ]

[※ 2. 最終の行程表の発表は、参加確認受付時に配布するか、公式通知にて告知すること]

### 付則 2. レッキのスケジュール

### 付則 3. コンペティターズリレーションズオフィサー (CRO)

[※顔写真、行動予定表等を記載すること]

### 付則 4. HQレイアウト、サービスパークのレイアウト等

[※未定にて記載できない場合、確定後公式通知にて告知すること]

### 付則 5. 信号灯によるスタート手順

[※未定にて記載できない場合、確定後公式通知にて告知すること]

### 付則 6. ゼッケンおよび広告

[※未定にて記載できない場合、確定後公式通知にて告知すること]

付則 7. スペシャルステージ（○スペシャルステージの 4）を設ける場合）

[※未定にて記載できない場合、確定後公式通知にて告知すること]

付則 8. サービス（○整備作業の 4）を設ける場合）

[※未定にて記載できない場合、確定後公式通知にて告知すること]

[競技会名称]  
大会組織委員会



## 第 2 章 競技参加に関する基準規則

### 第 2 条 参加車両

当該年の日本ラリー選手権規定第 7 条に従う。

### 第 3 条 クラス区分

- 1) 当該年の日本ラリー選手権規定第 8 条に従う。
- 2) 参加申込締め切り時点において、当該クラスの参加台数が 5 台に満たない場合は、当該年の日本ラリー選手権規定第 10 条に基づき、隣接する上位クラスでの参加を認める。

### 第 4 条 参加資格

当該年の日本ラリー選手権規定第 9 条に基づき以下に従うこと。

- 1) 参加申し込み締め切り時点において、参加車両を運転するのに有効な運転免許を取得後、1 年以上経過していること。
- 2) 参加者は、有効な J A F 発給の競技参加者許可証の所持者でなければならない。ただし、競技運転者は参加者を兼ねることができる。
- 3) 競技運転者は、有効な自動車運転免許証と有効な J A F 発給の競技運転者許可証の所持者でなければならない。
- 4) 満 20 才未満の競技運転者は、参加申込に際し、親権者の承諾書を提出しなければならない。
- 5) 1 台の参加車両に搭乗するクルーは、ドライバーおよびコ・ドライバーの 2 名とする。

### 第 5 条 参加申込方法および参加受理

- 1) 所定の参加提出書類に署名捺印の上、参加料等を添えて、大会事務局まで送付すること。
- 2) 参加車両名は必ず車両名（型式ではなく通称名：ウィッツ、マーチ等）を入れること。
- 3) 組織委員会は国内競技規則 4 - 19 に従い、参加申込者に対し理由を示すことなく参加を拒否した場合は、速やかにその理由を付して J A F に報告しなければならない。この場合の参加料等は返金される。  
なお、正式受理後の参加料は、オーガナイザーの都合で競技会を中止した場合を除き、返金されない。
- 4) 参加受理の諾否は参加受理書にて通知する。
- 5) 参加者は、参加申請が受理された後、不可抗力により参加できない時は、参加確認受付終了までにオーガナイザーにその旨を連絡しなければならない。

## 第6条 参加者に対する指示および公示

- 1) 競技会審査委員会は国内競技規則4-9および10-10に従って、公式通知をもって参加者に指示を与えることができる。
- 2) 当該競技会に関する公示、JAFが行う指示事項および暫定結果を含む競技結果成績は、公式通知掲示板に公示される。
- 3) 競技会審査委員会および組織委員会の決定事項または公示、あるいは参加者に関する特別事項も書面をもって参加者に伝達される。

## 第7条 参加確認

定められた時間内に、参加者、ドライバーおよびコ・ドライバーは、夫々本人が下記の書類を参加確認受付時に提出すること。代理は認められない。

下記の書類を参加確認受付時に提示すること。

- 1) ドライバーおよびコ・ドライバーの自動車運転免許証
- 2) ドライバーおよびコ・ドライバーの競技運転者許可証
- 3) 競技参加者許可証

## 第8条 クルーおよび参加車両の変更

- 1) 正式参加受理後のクルーの変更は認められない。ただし、コ・ドライバーおよび参加車両については、参加者から参加確認受付終了までに理由を付した文書が提出され、競技会審査委員会が認めた場合はこの限りではない。
- 2) 参加クラスの変更を伴う参加車両の変更は認められない。

## 第9条 安全装備

- 1) クルーが着用するもの：

当該年国内競技車両規則第4編付則ラリー競技に参加するクルーの装備品に関する付則に従ったヘルメットおよびレーシングスーツを着用すること。また、グローブも着用すること（コ・ドライバーは任意）。

- 2) 参加車両に搭載するもの：

- (1) 非常用停止表示板（三角）2枚
- (2) 片面に赤字で「SOS」、もう片面には緑字で「OK」と書かれたA3判のカード 2枚
- (3) 非常用信号灯（発煙筒）
- (4) 赤色灯
- (5) 牽引用ロープ
- (6) 救急薬品
- (7) 各車両規定に定められている仕様の消火器

## 第 10 条 書類検査および車両検査

### 1. 書類検査：

参加者は、書類検査時に以下の書類を提示すること。

- 1) 自動車検査証
- 2) 自動車損害賠償責任保険証
- 3) 対人賠償保険および搭乗者保険証（共済等）

### 2. 車両検査：

- 1) 競技会技術委員長は、公式車両検査を実施する。  
また、公式車両検査に参加車両を提示することは、当該車両がすべての規則に適合し参加申告したものとみなされる。
- 2) 参加者は出走可能な状態で特別規則書または公式通知に示されるタイムスケジュールに従い指定の場所で公式車両検査を受けなければならない。  
公式車両検査で不合格の場合、公式車両検査を受けない場合、または競技会技術委員長の修正指示に従わない場合は当該競技に出走できない。
- 3) すべての参加者は公式車両検査と同時にラリー競技開催規定に従った服装、装備、備品について検査をうけること。
- 4) J A F が指定した競技番号（ゼッケン） および広告は公式車両検査前までに参加車両の指定された場所に貼付されていなければならない。なお、競技中に外部から視認できるよう維持されていること。
- 5) 競技会技術委員長は、参加車両の改造等が不相当と判断した箇所について修正を求めることができる。修正を命じられた車両は、修正の後再度車両検査を受けなければならない。
- 6) 競技会技術委員長は競技期間中いつでも参加車両およびクルーの参加資格について検査することができる。
- 7) 競技会審査委員会の承認のもと、競技会技術委員長は、競技終了後上位入賞車両に対し最終車両検査を実施する。当該検査の対象となった参加者はその指示に従うこと。
- 8) 競技会技術委員長が行う検査および再車両検査の分解および組み付けに必要な工具、部品、必要経費はすべて参加者の負担とする。  
万一、当該検査を受けない場合または検査の結果不合格の場合は、競技会審査委員会の裁定により失格となる場合がある。
- 9) 参加者は、技術委員の求めがあれば各自の参加車両が車両規定に適合している旨を証明するため、車両規定に定める証明資料等を提示し証明しなければならない。
- 10) 参加者は、本規則第 3 章第 13 条に基づき、公式車両検査合格後に競技会技術委員長の許可を得て参加車両の調整、変更、交換作業を行った場合は、作業が終了した後に競技会技術委員長に申告して車両の規則適合性について再確認を受けること。

- 11) 参加者は、競技走行中に車両の安全性が損なわれたと判断した場合は、競技会技術委員長に申告してその安全性について確認を受けること。

### 第 3 章 競技に関する基準規則

#### 第 1 1 条 ブリーフィング

当該年の日本ラリー選手権規定第 1 6 条に従う。

ただし、ブリーフィングを実施しないオーガナイザーは、クルーに対する指示事項を公式通知にて発行し、参加確認時に書面にて配付しなければならない。当該指示事項に追加／変更が生じた場合は、当該競技会審査委員会の承認のもと再度、公式通知にて発表される。

#### 第 1 2 条 スペシャルステージ

天候の急変による路面状況の変化ならびに車両がコースを逸脱した場合に重大な危険を招くことがないようにクルーの安全性を考慮した適切な場所に設定すること。競技会審査委員会が危険と判断した場合、当該スペシャルステージの走行を中止する場合がある。

#### 第 1 3 条 燃料補給および充電

オーガナイザーが指定した場所以外での燃料補給、充電は認められない。

#### 第 1 4 条 整備作業の範囲

整備作業の範囲は、以下の通りとする。

- 1) タイヤの交換
- 2) ランプ類のバルブ交換
- 3) 点火プラグの交換
- 4) Vベルトの交換
- 5) 各部点検増締め
- 6) 上記以外の整備作業を行う場合、競技会技術委員長の許可を得て、所定の申告書を必ず提出すること。

#### 第 1 5 条 リタイヤ

競技会の途中で競技を棄権する場合、また以降競技に出場しない場合、その旨を書面にて競技役員に申し出て棄権しなければならない。

#### 第 1 6 条 リスタート

デイ 1 において競技から離脱した参加者は以下を条件にデイ 2 への出走が許される。

- 1) オーガナイザーが指定する時刻までに再出走の申請を行うこと。
- 2) オーガナイザーが指定する時刻までに再車両検査に合格すること。
- 3) 当該競技会審査委員会の承認を得ること。

### 第 17 条 競技結果

競技結果は、スペシャルステージで記録された所要時間とロードセクション、その他で課されたペナルティタイムを合計して決定する。

なお、オーガナイザーは各スペシャルステージ終了後に速報タイムを発表しなければならない。

また、オーガナイザーはデイ毎の競技成績を発表しなければならない。

## 第 4 章 抗議

### 第 18 条 抗議

- 1) 参加者は、自分が不当に処遇されていると判断した場合、国内競技規則第 12 条に従い、抗議する権利を有する。
  - (1) 抗議を行う場合は、必ず文書にて理由を明記し、52,400 円を添えて競技長に提出すること。
  - (2) 抗議が正当と裁定された場合抗議料は返却される。
  - (3) 抗議により車両の分解検査に要した費用は、その抗議が正当と裁定されなかった場合は、抗議提出者、正当と裁定された場合は抗議対象者が負担する。その際に要した分解整備等の費用は競技会技術委員長が算定する。
  - (4) 審判員の判定、計時装置、安全上の判断に伴うタイヤの追加に関する競技長宣言に対して抗議することはできない。
  - (5) 競技会審査委員会の裁定は、抗議者に宣告される。
- 2) 抗議の制限時間
  - (1) 競技会技術委員長の決定に関する抗議は、決定直後に提出しなければならない。
  - (2) 成績に関する抗議は、暫定結果発表後 30 分以内に提出しなければならない。

## 第 5 章 競技会の成立、延期、中止、または短縮

### 第 19 条 競技会の成立、延期、中止、または短縮

- 1) 保安上または不可抗力のため競技会実施あるいは続行が困難になった場合、競技会審査委員会の決定により競技会の延期、中止または短縮を行う場合がある。

- 2) 競技会の延期のため参加者が出場できない場合、または中止の場合は参加料を返還する。ただし、天災地変の場合はこの限りではない。

## 第 6 章 賞典

### 第 20 条 賞典

- 1) J A F 賞：全クラスの 1 位～3 位に対して J A F 楯が授与される。  
ただし、当該年の日本ラリー選手権規定第 4 条 1. および 2. に従い当該クラスが成立していること。
- 2) オーガナイザー賞：オーガナイザーが独自に設定する副賞を指し、当該競技会の特別規則に内容を記載すること。
- 3) 表彰対象者が表彰式に欠席した場合には、表彰を放棄したものとして、オーガナイザーの用意した副賞は授与されない。

## 第 7 章 本統一規則の解釈および施行

### 第 21 条 本統一規則の解釈

競技会中に本統一規則および競技に関する諸規則の解釈に疑義が生じた場合は、競技会審査委員会が決定する。

### 第 22 条 罰則

- 1) ラリー競技開催規定付則：スペシャルステージラリー開催規定第 28 条に従う。
- 2) 規則違反、または競技役員への指示に対する不遵守は、国内競技規則に記載されている条項に従って罰則が適用される。
- 3) 本規則に関する罰則および本規則に定められていない罰則の選択については、競技会審査委員会が決定する。

### 第 23 条 本統一規則の施行ならびに記載されていない事項

- 1) 本統一規則は、本競技会に適用されるもので参加受付と同時に有効となる。
- 2) 本統一規則に記載されていない事項については、J A F 国内競技規則とその付則、および F I A 国際モータースポーツ競技規則とその付則に準拠する。
- 3) 本統一規則発行後、J A F において決定され公示された事項は、すべての規則に優先する。

以上